

Course number		U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：障害とは何か ILAS Seminar :Disability Studies		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,HAYASHI TATSUYA Agency for Student Support and Disability Resources Associate Professor,MURATA JUN		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester		Quota (Freshman)	9 (9)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods	Mon.5
Classroom	Seminar room 21, ILAS Bldg.				Language of instruction	Japanese
Keyword	障害 / バリアフリー / 多様性 / 異文化					
[Overview and purpose of the course]						
<p>この授業のタイトルをみて、「京大で障害を学ぶ？ ということ？」と思った人はありませんか。一般的に、障害や障害者というと福祉やボランティアというイメージがあり、そもそも学問になるのか、という疑問をもつかもしれません。ただ、現在、障害を切り口にした、新しい学問の潮流が創出されつつあります。それは、「障害学(Disability Studies)」とよばれる学問で、障害を「個人モデル」という捉え方から「社会モデル」という捉え方へと変えるパラダイムシフトをベースに、人間や社会の理解を根本から変えていこうとする試みです。「どういう意味だろう？」と疑問をお持ちのあなた、一緒に学んでみませんか。教員からの講義だけでなく、ディスカッション、フィールドワーク、ゲストトーク、学生による発表を組み合わせた少人数ゼミで、知識や経験は一切不問です。文系・理系を問わず、意欲あふれる学生の参加を歓迎します。</p>						
[Course objectives]						
<p>現代における「障害観」について学び、多様性・異文化への理解を深めること、また、自主的な学習を通して、自分の思いを適切に伝えるプレゼン技術を磨き、且つディスカッションへ積極的に参加する意欲と能力を養うことを目標とします。</p>						
[Course schedule and contents)]						
<p>一部、講義も行いますが、むしろワークショップやディスカッションなどを重視します。</p> <p>以下、授業の予定です。 スケジュールや内容は変更する場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、導入授業等 2. 「障害とは何か」 (障害に関するレクチャー) 3. 聴覚障害・情報保障 (聴覚障害に関するワークショップ) 4. ゲストスピーカー (海外から日本に來ている障害のある方を招く) 5. 視覚障害・さわる文化 (視覚障害に関するワークショップ) 6. 支援機器 (AT体験実習) 7. バリアフリー (車椅子実習、バリアフリー調査) 8. バリアフリー (グループごとの発表、ディスカッション) 9. 発達障害 (発達障害に関するレクチャー、模擬体験) 10. アダプテッドスポーツ (体験実習) 						
<div style="text-align: right;">Continue to ILASセミナー：障害とは何か(2)</div>						

ILASセミナー：障害とは何か(2)

- 11. 「障害とは何か」 (障害に関するレクチャー)
- 12. 学生発表
- 13. 学生発表
- 14. 学生発表

なお、本授業は理学研究科_嶺重慎教授、情報学研究科_河原達也教授、医学研究科_岩隈美穂准教授、学生総合支援センター_和田竜太講師、人間・環境学研究科_江川達郎助教などの協力を得て実施します。

[Course requirements]

この授業の履修にあたって、障害に関する知識やボランティア経験などは一切必要ありません。これまで障害について考えたこともなかったという学生の履修を待っています。

[Evaluation methods and policy]

平常点 (50%)
8割以上の出席を求めます。
授業への積極的な参加を求めます。

発表 (50%)
授業の後半 (7月頃) に学生発表を求めます。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)
Introduced during class

(Related URL)
<http://www.gssc.kyoto-u.ac.jp/support/index.html>(学生総合支援センター 障害学生支援ルーム)

[Study outside of class (preparation and review)]

自主的な学習を求めます。
学生発表の際には、各自でレジュメ等の準備を求めます。

[Other information (office hours, etc.)]

学外見学を実施する可能性があるため、学生教育研究災害傷害保険へ加入していることが必須です。また、その場合の交通費 (電車賃等、数百円程度) は学生負担になります。

問い合わせなどは、以下へ連絡してください。

学生総合支援センター 障害学生支援ルーム (担当者: 村田淳)
TEL: 075-753-2317 FAX: 075-753-2319
E-mail: d-support@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
場所: 旧石油化学教室本館・1階北側 (吉田キャンパス 本部構内)
開室時間: 平日9時00分~17時00分